

大宮西地区

## 織田信長と富士見石

富士山は古くから名山として知られ、多くの人の目を引きました。

天正10(1582)年、甲斐(現在の山梨県)の武田氏との戦いに勝利した織田信長(以下:信長)は、徳川家康(以下:家康)の案内で富士山周辺を見物しました。『信長公記』※1には、信長が人穴で茶会を開いたことや、鎌倉時代に行われた富士の巻狩りの関係地や白糸の滝について詳しく尋ねたこと、大宮に宿泊して家康のもてなしを受け、上機嫌で家康に脇差や馬を与えたことなどが記されています。

### 伝承が残る富士見石

市立中央図書館の南側にある富士見石は、信長が腰掛けて富士山を眺めたと伝わり、隣にある道祖神には、富士見石の由来が刻まれています。

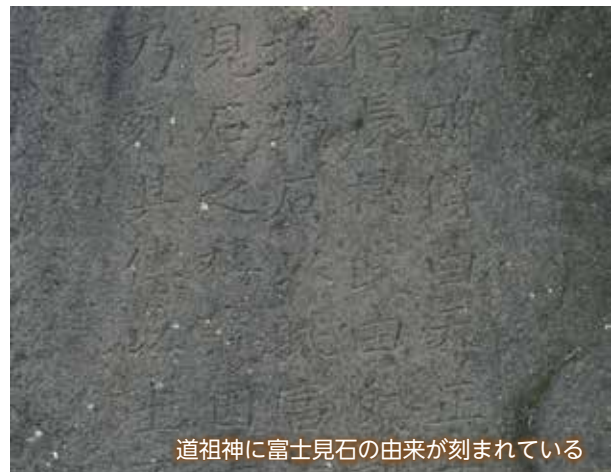
信長が本当に富士見石に腰掛けたのかを明らかにすることはできませんが、『駿河国新風土記』※2に富士見石のことが書かれており、今から200年近く前には伝承が存在していたことがわかります。

※1 信長の家臣である太田牛一が記した信長の一代記

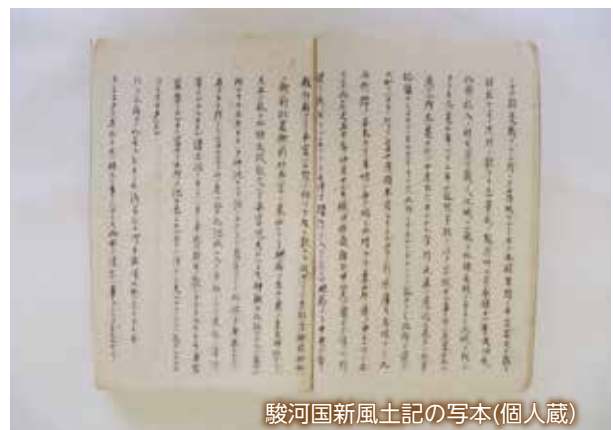
※2 駿府の国学者、新庄道雄が天保5(1834)年に完成させた書



道祖神(左)と富士見石(右)



道祖神に富士見石の由来が刻まれている



駿河国新風土記の写本(個人蔵)

### 歩く博物館H西コース<大宮西地区> 旧大宮西地区をめぐるコース

市役所6階文化課、出張所  
または市公式ウェブサイトなど  
にあります。



ID 1769



### 歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

料 500円

申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で

他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。

問 文化課 ☎22-1187

✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料  
ガイドブック



問 文化課 ☎22-1187